

令和7年3月5日

足立区立島根小学校
校長 世取山哲哉 様

足立区立島根小学校
開かれた学校づくり協議会

令和6年度 学校関係者評価書

1 自己評価書（学校経営計画・自己評価書）全般について

学校の取組について端的にまとめられており、1年間の教育活動の概要を把握する事ができました。しっかりした目標をたて、達成の度合いをチェックしながら確実に前へ進んでいると思えた。

特に児童意識調査の「学校に行くのは楽しい」の項目で全学年において肯定的回答群の割合が高いのが、誠にすばらしい。日頃の指導の成果と先生と子供たちの人間関係が数値にも現れていることがうかがえる。

生活指導面でも、島根小学校の子供たちはきちんと挨拶をすることができていると感じる。高学年が手本を示し、下の学年の子供たちがそれを真似する。これは島根小学校の良き伝統でもあると思うので、これからも続けていってほしい。

2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

「学力向上」「心の育成」「体の育成」の三本柱を立て、教育活動を行っていることがよく理解できた。

今年度の「展覧会」では先生方と子供たちの心をひとつにした本当に素晴らしい作品を見ることができ大変嬉しかった。特に6年生が作成した参加型の展示は、幼稚園や保育園の園児たちにも好評だった。子供たちも大きな達成感を得られたことと思う。

コロナ期間は開催できなかった「サマーコンサート」を数年ぶりに学校と開かれた学校づくり協議会共催で行うことができた。夏休み中ではあったが、たくさんの参加があった。次年度以降もぜひ続けていきたい。

次年度は「GIGAスクール推進研究校」「学校図書館利活用推進校」として研究を進めていくと聞いている。どのような成果が見られるのか楽しみである。

3 その他

島根小学校は校舎も誇りの一つである。次年度、全館LED化されるとのこと。より一層教育環境として望ましいものになることを期待する。

開かれた学校づくり協議会として、地域や保護者の方々の応援をいただき、今年もいくつかの行事をスムーズに運営することができた。教職員の皆様のご協力に感謝している。地域の一員として学校や保護者と手を携え、一体となって活動できることは喜びでもある。今後とも誇るべき「島根っ子」を学校・保護者・地域の三つの力で育てていきたい。

以上